

令和8年度プライム企画展

極東の狩人

—阿部祥人が追い求めた氷河期の開拓者たち—

2026.10.3(土) ▶ 12.20(日)

人類が日本列島に渡ってきたのは、今から約4万年前。当時の人類は、獲物を求めて遊動的な生活を行う狩人でした。最終氷期にあたる旧石器時代の遺跡は、日本全国で1万箇所以上が確認されており、その中でも、山形県内で見つかっている遺跡は108箇所と、東北地方で最多を誇ります。これらの遺跡に残された資料を手がかりに、考古学者たちは、当時の狩人たちの営みを明らかにする研究を続けてきました。本展では、県内外から出土した動物骨、植物、石器を通じて、寒冷な環境に適応し生き抜いた狩人たちの姿を描き出します。特に、山形県出身の考古学者である故・阿部祥人氏にスポットを当てます。彼が中心となって調査を進めてきた西川町お仲間林遺跡・上野A遺跡、そして青森県尻労安部洞窟の貴重な資料を展示。山形を舞台に実を結んだ、研究成果をご紹介します。

初公開 約2万年前の山形の自然を語る大発見！



立谷川河床出土シカ糞・トウヒ属球果 (当館蔵)



狩人の姿にせまる研究成果の数々！



現代に生きる旧石器人
(大場正善氏)



尻労安部洞窟発掘調査イメージ
(作画:下島綾美)

里帰り
展示



お仲間林遺跡の石器
(慶應義塾大学蔵)

山形県寒河江市
で育った
考古学者!!



故・阿部祥人氏

記念講演会

①10月11日(日)

講師:渡辺文彦氏(慶應義塾大学文学部 教授)

「慶應義塾大学 阿部祥人による
東北旧石器時代研究」

②12月5日(土) *オンライン配信予定

講師:久保麦野氏(東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授)

「2万年前の埋没林とそこに暮らしたシカたち
:立谷川プロジェクトでわかったこと」

記念イベント

①10月25日(日)

講師:佐藤祐輔氏(東北芸術工科大学歴史遺産学科歴史遺産コース 准教授)

「楽しいガラスの石器づくり体験」

②11月21日(土)

講師:大場正善氏(山形県埋蔵文化財センター 専門調査研究員)

「お仲間林遺跡の石刃のつくり方」

*記念講演会・イベントともに事前申込制。
各回13:30~15:30 本館講堂にて開催

ギャラリートーク

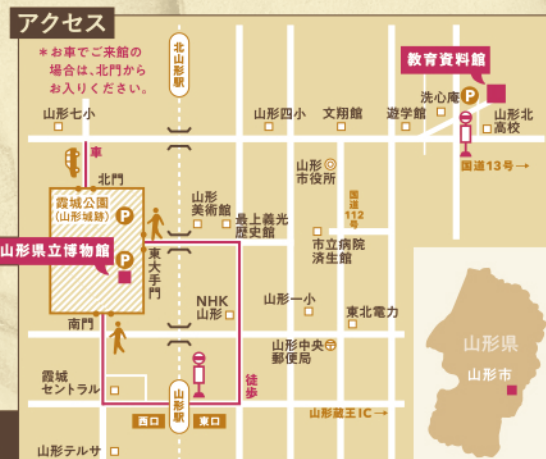
①10月3日(土)

②11月14日(土)

③11月28日(土)

④12月19日(土)

*当日受付。各回とも14:00~14:30
本館第3展示室



山形県立博物館 〒990-0826 山形県山形市霞城町1番8号 TEL:023-645-1111 FAX:023-645-1112

【開館時間】 9:00 ~ 16:30(最終入館16:00) 【休館日】 月曜日(ただし10・12・11/23(月祝)は開館し、翌火曜日が休館)

【入館料】 一般300円/学生150円(団体割引有) *高校生以下と障害者手帳をお持ちの方(付添を含む)は無料

【交通】 徒歩:JR山形駅西口から10分 車:山形道山形蔵王ICから20分、東北中央道山形中央ICから10分
協力:岩手県立博物館、奥州市牛の博物館、沖縄県立埋蔵文化財センター、慶應義塾大学、寒河江市教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市富沢遺跡保存館、東京大学、東京科学大学、東北大学、山形県埋蔵文化財センター、山形県立寒河江工業高等学校(五十音順)

公式ホームページは
こちらから ▶

